



栄区バドミントン協会創立30周年記念

栄区バドミントン協会
会長 小川 揚之輔

平成29年4月22日に30周年記念式典・祝賀会を開催いたしましたところ、多くのご来賓、会員のご出席をいただき祝うことが出来ました。ご臨席の皆さまには、当協会の運営に一方ならぬご支援、ご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。こうして30周年を迎えられましたのは皆さまのご協力、また、歴代の役員の方々の並々ならぬご苦勞、ご尽力もあってのことです。重ねてお礼申し上げます。

30年を顧みますと、当協会は、栄区が分区した5か月後の昭和62年3月に設立総会を開催し、翌4月から活動を開始しました。当初は、栄区にスポーツセンターが無く平成3年5月に栄スポーツセンターが出来るまでの4年間は近隣の戸塚や磯子、金沢のスポーツセンターを利用して大会を行っていました。当時の役員は、会場確保や運営に大変ご苦勞されたと思います。

それでも1年目から現在も行っています4大会の団体戦、ダブルス戦、家庭婦人・今はレディース大会ですが、それとミックス戦、そして2年目にオープン戦を設け5大会を現在まで途切れることなく開催しております。

この3月末の会員登録者は270名ですが、内60歳以上が64名です。おおよそ4人に一人が60歳以上となります。栄区は横浜市の中でも高齢化が進んでいますが、介護を受ける人が最も少ないと聞いております。元気なお年寄りが多いということが当協会の登録からも伺えると思います。

この10年間について言えば当協会の運営は順調に行うことが出来ました。そうは言っても、何も無かった訳ではありません。平成25年1月14日のミックス大会では朝は雨でしたが、途中から大雪になり車で来た選手が帰れなくなり、車を置いて帰ったり、バスが運休となり歩いて帰ったが大変だったことや、平成26年9月16日のオープン大会では、台風が直撃する予報で前日に大会を中止し、皆さんへの連絡が大変だったことがありました。そうした中で、うれしい出来事もありました。神奈川県バドミントン協会主催の県協会対抗団体戦の年齢別大会では女子チームが平成17年度から20年度まで4回優勝し、平成21年5月21日の県協会総会で3年連続優勝の表彰を受けました。

いずれにせよ、皆さまのご協力があって30年間を乗り越えてこられたと感謝しております。特に役員のご家族のご理解、ご協力なくして協会の運営は出来ません。いろいろとご迷惑をお掛けしたと思います。ここにお詫び申し上げますとともに、感謝申し上げます次第でございます。

30周年を新たな出発点として、40周年に向かって心を新たにして進んで参りますので、皆さまには引き続き変わらぬご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。